

第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会

開催要項

1 趣 旨

「フェニックス」には、「不死鳥」という意味と「FX (=福井のDX)」の意味をかけている。福井は敗戦と1948年の福井震災という困難を乗り越え、不死鳥のごとく復興を遂げてきた。さまざまな困難を抱える現代、マイナス面だけに目を向けるのではなく、既成観念にとらわれず、「できない」ではなく、自分たちには何が「できる」かを見つけていく。そして、誰一人取り残さない、多様性と包摂性のある持続可能な社会(SDGs)を目指していく。そのために、お互いが協働し、一人ひとりが知恵を出し合って、新たな社会教育の在り方を考えていく好機とする。

2 大会主題 「 **フェニックス！社会教育** 」

3 開催期日 令和5年10月12日(木)～13日(金)

4 会 場 12日(木) 全体会 福井県生活学習館 多目的ホール
 住 所 〒918-8135 福井市下六条町14-1
 TEL 0776-41-4200
 13日(金) 分科会 福井県生活学習館 各会場

<分科会会場等>

分科会	助言者	福井県生活学習館	定員
① 家庭教育支援	仁愛大学 准教授 青井 夕貴 氏	映像ホール (3階)	103
② 青少年の健全育成	福井大学 教授 岸 俊行 氏	学習室 B1 (B1階)	44
③ 地域文化の振興	福井大学 准教授 東村 純子 氏	学習室 301・302 (3階)	55
④ 地域の活性化	福井県立大学 准教授 高野 翔 氏	学習室 101・102 (1階)	66
⑤ 社会教育委員の 役割と課題	福井大学 准教授 田中 志敬 氏	多目的ホール (1階)	125

※会場は、分科会参加希望者数により変更します。

5 参加者 東海北陸各県市町村の社会教育委員及び社会教育関係者等

6 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合
 東海北陸社会教育委員協議会連合会
 福井県社会教育委員連絡協議会、福井県教育委員会

7 後 援(予定) 東海北陸六県市町村教育委員会連合会
 福井市教育委員会、福井県公民館連合会

8 日程

【10月12日(木) 第1日目】

※午前中から準備するため、昼食(弁当)は県が用意する

12:00 ~ 12:30	受付
12:30 ~ 12:50	アトラクション チアドリームプロジェクト (JETSのOG「チアプロ」)
12:50 ~ 14:00	開会行事
(休 憩)	
14:15 ~ 15:45	トークセッション 若新雄純 (株) NEWYOUTH 代表取締役/慶応大学特任准教授
15:45 ~ 16:15	閉会行事
(移 動)	
16:15 ~ 17:00	分科会打合せ

【10月13日(金) 第2日目】

9:00 ~ 9:20	受付
9:20 ~ 11:30	分科会
11:30 ~ 11:45	閉会

社会教育の若者へのアプローチ トークセッション

「Society5.0」など、現在私たちは将来の予測が困難な変化の激しい時代を生きています。そのような中、私たちが「持続可能な社会の創り手」となり、「ウェルビーイング」(「幸福」)を実現するため、社会教育が若者にどうアプローチしていくべきか。社会教育委員が現在抱える課題について、若新 雄純さんと福井県の社会教育委員・若手行政職員が語り合います。

【対談者】

わかしん ゆうじゅん
若新 雄純さん プロデューサー/(株)NEWYOUTH 代表取締役/慶応義塾大学特任准教授

大学在学中に就労困難者支援を行う(株)LITALICO(東証プライム上場)を共同創業し、2年弱取締役COOを務める。その後大学院を経て独立し、人材・組織に関する企画支援などを行いながら歌舞伎町でバー経営するなど独自のスタイルを模索。現在は、企画プロデュース会社を運営しながら、大学ではコミュニケーションデザインの研究ラボを運営。人間関係・コミュニケーション、感情表現、キャリア・教育、まちづくり、ライフデザインなどに関する実験的プロジェクトや研究活動を企画・実施。近年は多数の報道・情報番組にコメンテーターとして出演し、東京と地元福井の2拠点で生活・活動中。慶応義塾大学大学院修了、修士(政策・メディア)。



てらい ゆうすけ
寺井 優介さん 福井県庁チャレンジ応援ディレクター

インターネット事業などの株式会社ホルグ(横浜市)主催の「地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員アワード2022」受賞。熱意ある若者の発掘やマッチングに取り組む。活動の根底にあるのはあふれんばかりの福井愛。「チャレンジ応援を福井の文化に」と日夜県内を駆け回る。

とくもと たつゆき
徳本 達之 福井県社会教育委員連絡協議会会長/県私立幼稚園・認定こども園協会会長/県私立学校連合会副会長

やまぎし とみこ
山岸 登美子 福井県社会教育委員連絡協議会副会長/県自然保護センター天文指導員/星のソムリエ

アトラクション

チアドリームプロジェクト (JETS の OG「チアプロ」)

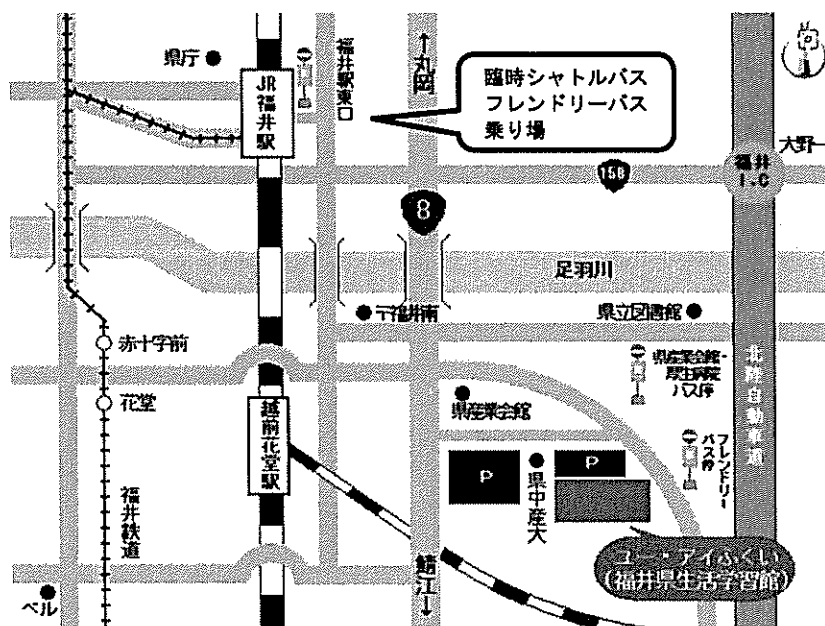
チアドリームプロジェクトは、福井県立福井商業高等学校チアダンス部「JETS (ジェッツ)」の OG らにより 2020 年 4 月発足。JETS は、2006 年にチアダンス経験がゼロの顧問と 10 人弱の部員でスタート。創部わずか 3 年、フロリダ州オーランドで開催される全米チアダンス選手権大会優勝。その後、9 回の全米優勝を達成。チアとは「応援」という意味。チアダンスで社会に元気と笑顔を届け、大きく社会貢献することを目指している。

※プロモーション映像など：[cheer dream - YouTube](#)



会場案内

福井県生活学習館



お車でのお来場

- ・ JR 福井駅から 約 15 分。 ・ 北陸自動車道福井 I C から 約 10 分。
 - ・ 北陸自動車道鯖江 I C から 約 20 分。
- ※国道 8 号線「産業会館」交差点から、東 (県道) に入って、約 500 メートルです。

駐車場

※市公用車 (ハイエース、XV) 使用

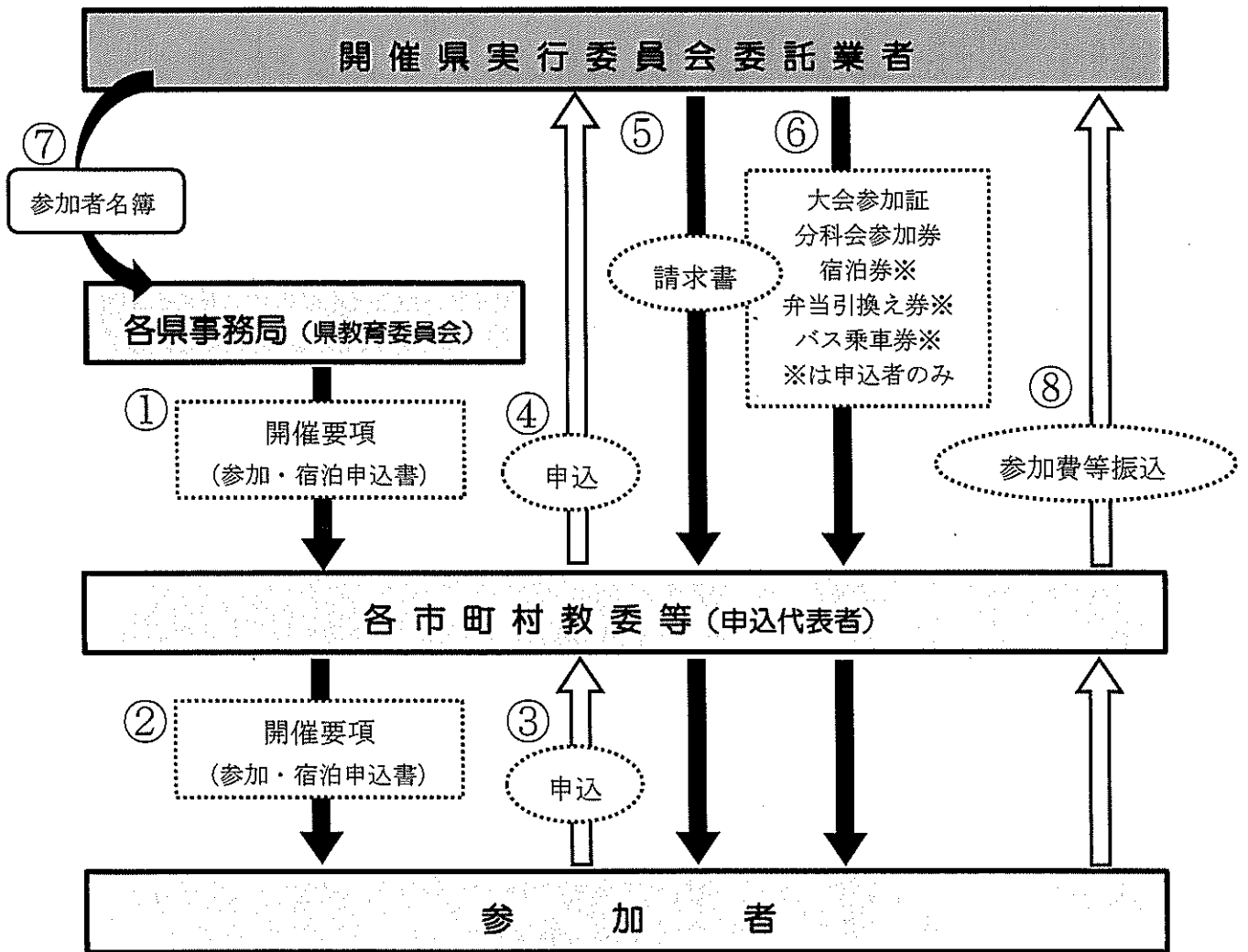
駐車場は、生活学習館の専用駐車場が 68 台分と、隣接する「福井県産業会館」および「福井県中小企業産業大学校」との共用駐車場が 350 台分あり、いずれも無料でご利用いただけます。

鉄道・バスを利用

- JR 福井駅東口から臨時シャトルバスを運行します。
 - また、8 時半より、JR 福井駅東口バスのりばから福井県立図書館へ運行しているフレンドリーバス (無料) が運行しています。
- ※「生活学習館先回り」にご乗車の場合、所要約 13 分。[生活学習館] で下車。
- その他、JR 福井駅西口バスターミナル 5 番のりばから、京福バス 羽水高校線 (60 系統) (有料) が運行しています。※ [県産業会館・厚生病院] で下車。生活学習館まで徒歩 1 分。

第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会 参加・宿泊申込み、通知等の流れについて

第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会への参加申込（参加登録、宿泊・弁当・シャトルバス）については、開催要項に添付する申込書にて、下図のとおり、直接実行委員会委託業者への申込みをしていただく予定です。



① 開催要項	6月中旬
④ 申込	発送から8月10日(木)まで
⑤ 請求書発送	8月21日(月)から9月13日(水)
⑥ 発送	8月21日(月)から9月13日(水)
⑦ 参加者名簿	9月20日(水)ごろ
⑧ 振込	8月21日(月)から9月27日(水)(請求書到着から2週間以内で振込)

新型コロナ感染症に係る大会の開催方法について（案）

令和2年度～3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、全国各地の社会教育研究大会の運営について、延期や中止、開催方法の変更が余儀なくされた。令和4年になると重症化リスクや死亡リスクの低下に伴い行動制限が緩和され、令和4年度の全国社会教育研究大会広島大会（令和4年10月26日（水）～28日（金））は完全対面にて実施されている。令和5年1月27日（金）、政府は第101回新型コロナウイルス感染症対策本部（本部長：岸田文雄首相）を開催し、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることなどを決定した。2類から5類に移行することにより、行動制限はなくなることになる。

福井大会ではこうした状況を鑑み、感染症対策を十分に行った上で、当初の計画通りに会を行い、成果を上げられるよう目指しつつも、安全・安心を第一に次の2案で準備する。

なお、参加費（大会資料代等¥3,000）については、支払後の返金はいかなる理由があっても行わないものとする。

A案 会場参加のみ（対面開催）

B案 会場参加＋オンライン参加（ハイフレックス形式開催）

- ・会場参加とオンライン参加のハイフレックス形式により実施する。
- ・オンライン参加者は、1日目の全体会と2日目の分科会（＝多目的ホールで実施するもの）を視聴いただく。
- ・後日のオンデマンド配信は行わない。

会場と大会要項について

- ・会場は、A～B案いずれの場合も、福井県生活学習館で行う。
- ・大会要項は、当日配布する。オンライン参加者には、事前にデータにより配布し、大会終了後に都道府県事務局に冊子を一括で配送する。

開催方法の決定時期

- ・令和5年5月上旬にA案開催かB案開催かを決定する。**基本的にA案での開催とする。**
- ・ただし、開催要項送付後、万一、コロナ感染拡大等でB案に変更する場合、すみやかにその旨を連絡する。
- ・B案開催に変更した場合、ネット上での参加申込内容に、「すでに対面での参加を希望されていますが、オンラインでの参加希望に変更しますか（はい・いいえ）」という項目を追加し、「はい」または「いいえ」で回答していただくことで対応する。

東海北陸社会教育研究大会福井大会開催方法

開催方法		A		B	
実施方法	現地参加者	東海北陸		東海北陸	
	対応	会場参加のみ		会場参加とオンライン	
	オンライン詳細			全体会：多目的ホール 分科会：多目的ホールのみ	
	オンデマンド詳細				
	使用会場	福井県生活学習館		福井県生活学習館	
	開催日数	2		2	
	日程	(1日目) 午後 アトラクション 開会式 表彰 講演	(2日目) 午前 分科会 (5分科会場)	(1日目) 午後 アトラクション 開会式 表彰 講演	(2日目) 午前 分科会 (5分科会場)
	参加人数	会場：450名		会場：200名 オンライン：250名	
	分科会発表	福井県生活学習館内の5分科会場		福井県生活学習館内の5分科会場	
	役員会	開催		開催	
	準備	前日から		前日から	
	大会要項	会場：会場渡し		会場：会場渡し オンライン：事前データ送信 (冊子は、後日、県事務局へ)	
参加費(資料代等)	一人 3000円		一人 3000円		
中止の判断基準	県：「厳重警戒宣言」発出中 国：県内のいずれかの地域でまん延防止等重点措置が適用中 その他：会場定員など施設の利用規程等		県：「厳重警戒宣言」発出中 国：県内のいずれかの地域でまん延防止等重点措置が適用中 その他：会場定員など施設の利用規程等		
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 他県からの移動 感染対策の徹底 		<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社の違約金 感染対策の徹底 会場での昼食 		

A～B 案での分科会の持ち方

	A 案	B 案
事前収録提出	なし	なし
発表時間 収録時間	20分	20分
司会	各県依頼の司会者	各県依頼の司会者
助言者	分科会ごと計5名	分科会ごと計5名
分科会 当日の流れ	9:20 開会 9:30 研究発表 I (20分間) 9:55 研究発表 II (20分間) 10:15 休憩 10:30 質疑応答 (20分間×2) 11:10 助言 (20分間) 11:30 閉会 11:45 終了	9:20 開会 9:30 研究発表 I (20分間) 9:55 研究発表 II (20分間) 10:15 休憩 10:30 質疑応答 (20分間×2) 11:10 助言 (20分間) 11:30 閉会 11:45 終了
当日の オンライン対応	なし	<u>多目的ホールのみ</u>
後日の オンデマンド対応	なし	なし

分科会 話題提供県 令和4年度～令和9年度 予定(案)

分科会	年度・開催県	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	テーマ	愛知県	福井県	富山県	岐阜県	三重県	愛知県 ※全国大会
1	家庭教育支援	三重 愛知	岐阜 福井	石川 富山	福井 岐阜	愛知 三重	富山 *
2	青少年の 健全育成	石川 愛知	三重 福井	愛知 富山	富山 岐阜	福井 三重	岐阜 愛知*
3	地域文化の振興	富山 愛知	愛知 福井	三重 富山	石川 岐阜	岐阜 三重	福井 *
4	地域の活性化	福井 愛知	石川 福井	岐阜 富山	三重 岐阜	富山 三重	石川 *
5	社会教育委員の 役割と課題	岐阜 愛知	富山 福井	福井 富山	愛知 岐阜	石川 三重	三重 愛知*

- ① 令和5年度～令和7年度は一昨年度提案により予定どおりとする。
 ② 分科会のテーマについては、社会状況などにより、変更可とする。

各県別参加者期待数(令和2年度～)・H28年度は実数

年度 開催地 参加県	H28	R2	R3	R4	R5
	福井県	愛知県	石川県	愛知県	福井県
	敦賀市	東海市	小松市	東海市	福井市
福井県	223	70	70	80	145
富山県	25	30	70	80	25
岐阜県	55	100	100	100	55
三重県	59	70	60	100	59
愛知県 名古屋市	54	630	60	620	54
石川県	112	100	500	120	112
合計	528	1000 書面開催	860	1100	450

分科会役務者

分科会	主題	協議の視点	助言者	司会者	話題提供者	記録者・ 運営責任者
1 家庭教育支援	地域ぐるみの家庭教育支援・ 子育て支援の充実	親育ち・子育てを支援する 学びの場・つながりなどの 環境づくり	仁愛大学 准教授 青井 夕貴 氏	岐阜県	岐阜県 福井県 嶺南	福井県 敦賀市
2 青少年の健全育成 (含 地域学校協働活動)	社会全体で取り組む青少年 の健全育成	地域が力を合わせた未来の 担い手づくり	福井大学 教授 岸 俊行 氏	三重県	三重県 福井県 奥越(勝山)	福井県 美浜町
3 地域文化の振興 (含 多文化共生)	地域の伝統文化の継承・発展	地域の伝統文化を活かした 包摂性のある地域づくり	福井大学 准教授 東村 純子 氏	愛知県	愛知県 福井県 坂井	福井県 高浜町
4 地域の活性化	団体活動によって生み出さ れる地域の賑わい	多様な年齢層によるつながり を大切にした地域づくり	福井県立大学 准教授 高野 翔 氏	石川県	石川県 福井県 鯖丹	福井県 おおい町
5 社会教育委員の 役割と課題	地域の課題解決に向けた社 会教育委員の役割	持続可能な地域社会づくり のために社会教育委員が果 たす役割	福井大学 准教授 田中 志敬 氏	富山県	富山県 福井県 南越	福井県 若狭町

第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会 収支予算書 (案)

< 収入の部 >

項 目	予算額 (円)	内 訳
大会参加費	1,080,000	3,000円×360人 (役務者、被表彰者を除く)
社教連補助金	100,000	全国社会教育委員連合
東海ブロック補助金	60,000	10,000円×5県1市
福井県負担金	498,000	県負担金 (臨時職員報酬含む)
県社連負担金	813,000	財政調整積立金813,000円
県社連補助金	261,000	
合 計	2,812,000	

< 支出の部 >

項 目	予算額 (円)	内 訳	予算額 (円)
報償費	460,000	講演講師謝金	150,000
		アトラクション謝金	100,000
		分科会役務者謝金 (5分科会×3人)	75,000
		分科会助言者謝金 (5分科会)	75,000
		額縁・賞状 (表彰者14人)	60,000
旅費	92,000	分科会助言者旅費 (5分科会)	17,000
		開催準備会等係旅費	75,000
需用費	1,103,000	開催要項・大会要項・封筒 (700部)	310,000
		大会報告書 (データ作成など)	273,000
		コンベンションビニールバッグ	15,000
		看板・生花	230,000
		胸バラ等	25,000
		弁当・お茶	230,000
		事務用消耗品費	20,000
役務費	20,000	宅配送代・切手代	20,000
委託料	649,000	業者委託費 (請求・領収、参加券)	319,000
		シャトル便運行費	330,000
人件費	488,000	臨時職員報酬、労災保険料	488,000
合計	2,812,000		

* 項目間の流用を認める。

令和5年度 第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会に向けての役割(案)

一ブロック長在籍事務局担当者が運営主任となり各ブロック内で連絡・確認しながら役割を遂行する。 第5回理事会・第1回実行委員会(R5.3.14現在)

ブロック名	市 町	R4委員数	合計	理事	ブロック長	責任者	事務局	役割		概要	前日 両日
								会場	全体会 打ち合わせ会		
福井・高志 ブロック	2	16	31	田中	田中	荒谷・榎岡	伊藤	会場 (前日に 20名、 当日に1 1名)	全体会 打ち合わせ会	■県研究協議会両側に、準備物の用意および準備に関する各種業務(会場・駐車場)を担担する	前日 両日
								第1分科会	前日準備(大会資料等袋詰め、福井市観光パンフレット設置、書籍販売ブース設置、全体会・分科会会場準備)		
嶺南 ブロック	6	7	52	岡	徳本	山本正人	田中	記録 (6)	第1分科会	記念講演記録→「報告書原稿作成」	両日
									全体会	記録写真撮影→「報告書原稿作成」	
									第2分科会	※参考とするのは「R4要知大会報告書」	
									第3分科会	※マジカメ 筆記用具	
									第4分科会	※福井大会「報告書」の原稿作成を念頭に写真撮影を進める。	
奥越 ブロック	2	9	18	山岸	佐々木	天本 日政 岩岡	接待 (9)	案内・弁当	来賓、被表彰者、講師、アトラクション、大会役員への対応	1日目	
								案内・湯茶	来賓、会場への案内(懇談) ・講師への水、おしぼりの提供		
								来賓・案内	湯茶、弁当の提供と回収		
坂井 ブロック	2	14	29	日芳	日芳	西正	受付 (19)	来賓・案内	来賓、被表彰者、講師、アトラクション、大会役員、一般参加者等の受付	両日	
								県外	リボン渡しと回収(「赤」来賓8、[白]主催者12、[ピンク]表彰者14)		
錦丹 ブロック	2	15	27	澤	澤	松田	式典 (8)	来賓・案内	受付準備物の確認、用意	1日目	
								表彰	名簿チェック、資料渡し		
南越 ブロック	3	12	25	上嶋	上嶋	土井	駐車場 (9)	開閉会式	表彰リハーサルの説明、進行	両日	
								表彰	表彰式における表彰の補助(表彰品)		
								誘導・整理	被表彰者席の名札、記念品(郵送入)などの準備・確認		
南越 ブロック	3	4	9	上嶋	上嶋	榎本	誘導・整理	誘導・整理	来賓、講師用駐車場の確保、来賓、講師の誘導、案内	両日	
								誘導・整理	一般参加者駐車場の駐車誘導		
南越 ブロック	3	9	182	上嶋	上嶋	榎本	誘導・整理	誘導・整理	文通整理(駐車場からの移動者への誘導声かけ)	両日	
								誘導・整理	会場案内		
	17	182	182								

※手がすいているときなどは他部門の補助など臨機応変に対応

※ブロック長在籍事務局が運営主任となる

※会長・副会長は全体総括・来賓等対応

今のところ
大野市は前日
の準備なし

研究集会 分科会担当ローテーション(ブロック別)

分科会 テーマ	第1	第2	第3	第4	第5	開催地運営	
	家庭教育支援	青少年健全育成	地域文化の振興	地域の活性化	社会教育委員 の役割と課題		
H27	鯖丹	福井・高志	南越	坂井	嶺南	奥越	
H28 (東陸大会)	鯖丹	福井・高志	南越	坂井	奥越	嶺南	東海北陸 福井大会
H29	嶺南	坂井	奥越	南越	鯖丹	福井・高志	
H30	南越	嶺南	福井・高志	奥越	坂井	鯖丹	
R1	奥越	鯖丹	坂井	嶺南	福井・高志	南越	
(R2)		(福井・高志)					
R3	鯖丹 越前町	福井・高志 永平寺町	嶺南 高浜町 若狭町(東陸)	南越 越前市	奥越 大野市	坂井 あわら市	全国大会・ 東海北陸 石川大会
R4	福井・高志	南越	鯖丹	坂井	嶺南	奥越	東海北陸 愛知大会
R5 (東陸大会)	嶺南	奥越 (勝山市)	坂井	鯖丹	南越	福井・高志	東海北陸 福井大会
R6	坂井	南越	奥越 (大野市)	福井・高志	鯖丹	嶺南	

※第4分科会提案者は東海北陸大会での【第4分科会】の話題提供者を兼ねる。

※R4以降の分科会テーマは変わることがあります。